



第2640地区

有田2000
ロータリークラブ



No. 869

18-19年度 RIテーマ
【インスピレーションになろう】

Club Bulletin

会長 南 良暢
幹事 永石睦巳
クラブ会報委員長 吉水志朗

基本的教育と識字率向上月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日／毎週水曜日 19:00

事務局・例会場／〒643-0025

有田郡有田川町土生409

吉備インターゴルフセンター

TEL 0737-52-8960

FAX 0737-22-6800

E-mail: info@arida2000rotary.club

URL: http://arida2000rotary.club/

本日のプログラム

平成30年10月3日 第870回
ソング「君が代」「奉仕の理想」
会長の時間 幹事報告 委員会報告
ニコニコ箱報告 出席報告
地区社会奉仕委員長
高石ロータリークラブ 坂東 剛様

次回のプログラム

10月10日 細則による休会
10月20日 白木海岸清掃奉仕移動例会
10月24日 和歌山放送 野々村邦夫様
11月3、4日 移動例会 彦根方面

前回の報告（第869例会）

開催日 平成30年9月12日（水）

点鐘 南 会長

ソング「手に手つないで」

ゲスト

岩出ロータリー
クラブ

第2640地区

青少年交換委員長

水崎哲男様

有田屋呉服店
店主



●会長の時間●



皆

さん

こんばんは。本日は地区少年交換委員長 水崎哲男様、お忙しい中お越しいただき有難うございます。水崎様は岩出市で呉服店を営んでおられまして、着物について精通されています。ホームページを拝見してますと、犬の着物という概念があることに驚きました。日本の伝統的な文化を肌で感じながら日頃ご指導されておられる水崎様に後ほど貴重な卓話をお願いいたします。

本日は山口県周防(すおう)大島町で行方不明となった2歳の藤本理稀(よしき)ちゃんを捜索開始から30分で発見したスーパーボランティアの尾島春夫さんから学びたいと思います。私たちの奉仕や寄付は、永石幹事が語ったように強要されて行うものではなく、私も、個々が感じる動機から能動的に行われるものだと思います。

さて、尾島さんは、小さい子が3日も食べることができずに水分だけしか取れない状況で「水深の浅いところの水ってどうやって飲むかわかりますか？」という問いに、普通は「しゃがんで水を手ですくって飲む感じじゃないか？」と思います。尾島さんは「それだと泥が水に混じってしまう」「水深の浅いところの水を飲むときは、地べたにうつ伏せに寝る。顔は上流に、足は下流に向けて。そうしないとうまく飲めない。だからあの子はそれをきちんとできて

いたということだ。それはすごいことなんだよ」と話したそうです。尾畠さんは、プロの救急部隊が何日間も見つけられなかった子供をいとも簡単に発見しました。尾畠さんのヘルメットには「絆」という漢字が記されているそうです。

「私はボランティア仲間や被災した人たちとの繋がりを大事にしている。出会って最初のうちは向こうは警戒しているし、こっちも緊張している。目を見てお互いモノを言えるようになるまで1日1日を大切にしていく。ボランティアさせてもらった人たちが、こんなことまでしてくれたのかと喜んでくれるのが最高の瞬間だ」と語ったそうです。さらに「私は私が怖いんです。放っておくと悪いことをするのではないかという恐怖です。毎日自分を振り返っては、自分自身が悪いことをしたと叱りつけている。これから私は常にボランティアをして、感謝を続けるしかないんです」と。

尾畠さんの作業のモットーは自己完結だそうです。宿泊場所は自分の軽自動車の車内。昼食はスーパーで買ったインスタント麺、パックご飯と梅干し。作業道具も自前でメンテナンスを繰り返します。着ている服は拾ったもの。特別扱いは心底嫌って、プレゼントは受け取らない。

「物は有限、知恵は無限」と語るように、切れが悪くなったカッターは、その辺の石で研ぐのではなく、コンクリートで研ぐといくらでも切れるようになる、とそれをしようとしなければ決してたどり着かないことが経験となっていきます。

ボランティア経験が豊かな尾畠さんですが、自分より若いボランティアの人であっても話をきちんと聞いて、深々とお辞儀をしている姿を他のボランティアから見ても胸が熱くなる思いにかられるようです。尾畠さんの「ボランティアをやらせていただきます」若い人に向かって「ご指導ご鞭撻ください」と平身低頭して発する言葉に感銘を受けたそうです。

「してあげている」ではなく、「やらせていただいている」という精神が基盤となって、その結果から得られる経験を次に生かし続けていくブレないプライスレスな思いこそが奉仕なんだと思いました。

私たちも、たとえ奉仕をしたい！と能動的に思えても、「してあげている」ではなく、「やらせていただいている」という思いが湧き上がるように、私たちの奉仕に取り組む基本的な理念や考え方がまず問われているように感じました。

●幹事報告●

代理 副会長

辻本正成君

○報告事項○

1・地区大会の案内

2・7月豪雨の義捐金について

3・10/20 白木海岸清掃参加（回覧）

4・例会変更（掲示）



●週報委員会●

吉水志朗君

ロータリーの友 9月号

横組

P 7 子ども食堂

P 3 0 ポリオ撲滅活動

P 3 4 ロータリー

米山記念奨学事業

P 4 0 トロント国際大会



縦組

P 4 子ども食堂

P 1 3 米山梅吉記念館をロータリーの拠点に

P 2 5 和歌山南ロータリー

●ニコニコ箱●

水崎哲男様：卓話させていただきます。

南良暢君：地区青少年交換委員長 水崎哲男様

本日は遠方よりお越し頂き有難うございます。本日よりよろしくお願い致します。

樋口明君：水崎委員長様、本日は、宜しく願いいたします。

上野祥弘君：水崎委員長様 本日の卓話宜しくお願い申しあげます。

吉水志朗様：有田屋の水崎様 本日はお越し頂きありがとうございました。去年は、ルーカスの件では色々お世話になり有難うございました。

前任君：地区青少年交換委員長 水崎様 本日はお忙しいところ有難うございます。

●出席報告●

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	16名	8名	50%
8月 29日	16名	15名	93.75%

●卓話●

岩出ロータリークラブ

第2640地区 青少年交換委員長

水崎哲男様



有田2000RCの皆さん、こんばんは。地区青少年交換委員長をさせていただきます水崎哲男です。

この7月、8月は留学生の出入国ラッシュでした。

インドネシアからの帰国留学生は「現地について道端で物売りをしている子供に遭遇します。このシーンはテレビで見たことがあります。驚きました。」と言っています。生命力の尊さを学び、生活に対する真剣さを感じたようです。

ドイツへ行かれた留学生は地区の行事に飲酒やドラッグが日常化してきているようで、行事に参加することで大いに悩んだようです。留学生として情けないことはしないでおうと心に決めて参加しました。1年は物事が一筋縄でないことも多かったのですが、でも幸せな時間を過ごすことができましたと語っています。

今までのお話は日本人の帰国報告ですが、実は日本へ来て帰った外国人留学生のその後のことについてはあまり調査されていません。

岩出RCでは2009年に青少年交換プログラムに参加して20年を期にアンケート調査をしたことがあります。帰国直後ではなく年数がたって留学と自分のかかわりがわかる資料となりました。

カナダからの留学生イアン君は1996～1997年の受入です。もう、40歳前でしょう。「日本でのあの1年がなかったら小学校の教師などきとしていなかっただろう。学校の集会で前に立つ度に、何年も前の事です。が那賀高校で前に立っていたことを思い出します。今の自分は日本でのあの1年があったから」と書いてきました。

ドイツから来たキャロラインは1992年でした。3か月で早期帰国してしまいました。このことで彼女は「ホームシックにかかり、考え方を考える余裕がなかった。今はその時の経験で、常に感謝ができるようになった。

ページは1990～1991年アメリカより来まして、岩出RC最初の留学生です。彼女は2002年から6580地区のRCに入会して、さらに4年間青少年交換委員長をしています。

時がたって初めてわかってくることもあります。青少年交換ということは私たち年齢を経た経験者から若い世代を育てることだけではなく、自分たちも学ぶチャンスがあります。今更という方もいるかもしれないけれど、異文化を持った今の時代の青少年にかかわって、あらためて知る機会になると思います。家族の中で十分だと思われる方もいらっしゃると思いますが客観的に見ることで、新しい発見をすることは大いにあります。たとえば福祉の発達したヨーロッパと言へども、接することによって見えてくることは違いますし、改めて日本の素晴らしさも発見します。それは直接かかわらないと感じないことかもしれません。

留学生には熟成期間が必要であり、彼らの人生でどのような花をいつ咲かせるか見ることはできませんが、種を播いたことは間違いありません。

受け入れて、いろいろなわずらわしさや煩雑さを味わいますが、成し遂げたことを味わえることでもあると思います。

ご清聴ありがとうございます。



●閉会点鐘● 南会長

2018年9月21日（金）

第2区分クラブ会長・幹事懇談会

念願のIM復活を目指して、協議会、懇談会が開催されました。



2018年9月23日（日）

有田3クラブ合同コンペ開催

有田東急ゴルフクラブ

見事準優勝の平松一彦君 素晴らしい！！



素晴らしい晴天の中、有田3クラブの仲間が、久しぶりに集い、楽しいゴルフを過ごしプレー後の親睦を深め有意義な時間を過ごしました。

